



い
な
が
わ
議会

だより

第136号

平成22年(2010年)8月2日

竹細工に夢中
(あじさいまつり)

新名神へ町有地売却決定	2
売却収入の使い道は	4
日曜議会を開催	5
追跡 あの質問 その後は	11

受理した請願

請願2件を審議の結果、次のとおり決定した。

「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充」を求める意見書に関する請願

- ◎請願者
 ・連合川西・猪名川地区連絡会
 ・猪名川町教職員組合

結果 採択（全会一致）

意見書を国へ提出

「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充」を求める意見書

要旨 次代を担う子どもたちの教育環境を整備するため、標準定数法を改正し国の財政負担と責任で、学級編成を30人以下とすること。教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担割合を2分の1に還元すること。

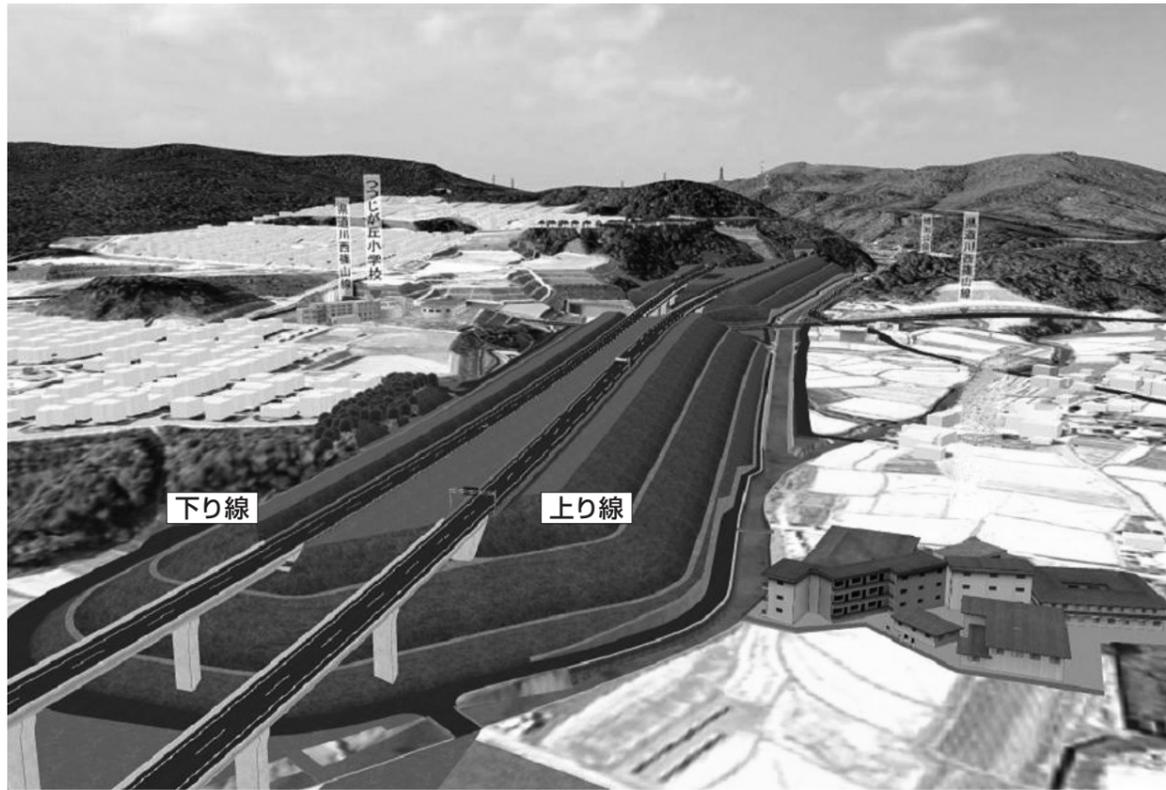
保育制度改革に関する請願

- ◎請願者 兵庫県保育所運動連絡会
 ◎付託委員会 生活文教常任委員会

反対 待機児童の解消や、保護者の負担軽減を目的に昨年からは展開している「猪名川町認可外保育所助成金」事業は本町独自の子育て支援策のひとつであり、内外からも高く評価されている。今後も子育て支援に対する本町の強い意志を反映させていく上で、「一般財源化反対」は行政の自由裁量に基づく施策展開を否定するようなものである。

賛成 一般財源化により算入するということは、一般財源化によって国がいくら保育に措置したかわからなくなる。安心して子育てができるように、措置を充実することが必要。

結果 不採択（賛成2・反対13）



（六石山から広根・猪淵・つつじが丘方面を望んだ完成予想図）

第350回

6月定例会

第350回定例会を6月11日から6月25日までの15日間開会し、専決処分3件、条例改正3件、町道認定1件、財産処分1件、動産購入1件を審議し、いずれも原案どおり承認・可決した。

また、6月20日には、今年で9回目となる日曜議会（一般質問）を行った。

新名神へ町有地売却決定

総額2億9075万円

財産処分

新名神高速道路の通過予定箇所に存在する町有地を売却

面積 3万3409㎡
 金額 2億9075万円

条例の一部改正

職員の子育て休業・勤務時間、休暇等に関する条例
 ・配偶者が育児休業を取得しているかどうかにかかわらず、職員は育児休業を取得することができる。
 ・3歳未満の子のある職員が養育のため請求し

売却用地一覧（企業会計分を除く）

場所	区分	面積(㎡)	金額(円)
広根字野尻	住宅地跡公園	156.78	8,999,172
広根字野尻	広根プール用地	3,311.04	127,179,466
つつじが丘1丁目	緑地	5,132.12	25,660,600
つつじが丘1丁目	緑地	668.54	3,342,700
つつじが丘2丁目	緑地	1,558.55	6,857,620
つつじが丘2丁目	学校予定用地	14.43	63,492
つつじが丘5丁目	緑地	21,638.02	95,207,288
つつじが丘5丁目	公園	930.03	23,436,756
合計		33,409.51	290,747,094

専決処分

町税条例の一部改正（主な改正項目）

・住民税における年少扶養親族にかかる扶養控除を廃止する。
 ・住民税における生命保険控除を改組し、合計適用限度額を7万円とする。
 ・市町村たばこ税の税率を40%引き上げる。

国民健康保険条例の一部改正

・非自発的失業者については、給与所得を100分の30にし、国民健康保険税を算定する。
 （いずれも全会一致で承認）

ひとくちメモ

「非自発的失業者」事業所の倒産や解雇などによる離職を余儀なくされた人

ごみ収集車を購入

老朽化に伴うごみ収集車（766万円）を更新。

（いずれも全会一致で可決）

日曜議会を開催



11人が町の考えを問う

（詳細は5～10ページ参照）

総務建設

売却価格は適正か 収入の使い道は



売却予定地を視察（広根の南プール跡）

6月14日、委員会を開
会。付託5議案を審査。
主な質疑は次のとおり。

職員の見学休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

職員の見学休業により、支障がでないか。

A 組織の中で業務に支障がでないように対応したい。

町道路線の認定

Q 出口付近等見通しの悪い箇所の安全対策は、改善が必要な箇所は

建設部として開発業者と協議し、安全対策を行う。

財産処分

Q 広根プール用地の登記地目は、また筆数が新名神高速道路対策特別委員会での報告と違うのはなぜか。また、筆界未確定地の取り扱いは。

A 地目は、公簿では雑種地。筆数の違いは、今回は公営企業用地が含まれていない。また、筆数の把握に違いがあったためである。売却予定地は変わっていない。筆界未

確定地は、広根六石山、約1万1000㎡。地権者との境界が確定後、売却予定を進める。

Q 学校予定用地の財産管理の扱いは。

A 普通財産で、隣接の緑地と同額で売却予定。

Q つつじが丘5丁目の緑地と公園の売却単価の違いは。また、売却収入の用途は。

A 緑地は単価4400円、公園用地は平地で宅地見込み地評価を受け、単価2万5200円。また売却収入の用途につ

ては、今後検討するが、補正予算で基金に積み立てるなど運用している。

Q 道路予定地にある町道は、どうなるのか。

A 広根、猪瀬などの該当する町道については、地域の生活道路として付け替えて機能回復させる。

（その他、消防団条例、火災予防条例の一部改正についても審査。いずれも全会一致で可決）

「公共土木施設の計画的整備について」、「農林商工業・観光の育成について」を調査

鳥帽子岩橋工区、県道川西篠山線自・歩道設置工事、鳥獣被害防止対策事業などを現地視察。

生活文教

6月15日、委員会を開
会。

請願の審査と継続調査（現地視察）を実施。

保育制度改革に関する請願について

討論を行い、賛成少数（賛成1・反対6）で不採択となった。（3ページ参照）

「健康づくりと少子・高齢化対策等の福祉の推進について」を調査

町社会福祉協議会の事業について（現地視察）



ゆうあいセンターを視察

ひとくちみも

筆界未確定地
所有者同士の立会いによる境界の確認が出来ていない土地。



福井 昌司議員



浸水区域を表示した冊子

Q 雨水整備を軽視していないか

A まず、河川維持計画を進め取り組む

雨水整備・雨水対策を軽視していないか。

建設部長 汚水私費、雨水公費の原則で、新規住宅造成区域を先行し、分流方式で整備した。既存地域は直近に河川があることから、農業用水路で排水している。いま、公費で整備する状況に至

っていない。しかしながら近年、想定外の局地的豪雨が頻発することから、猪名川流域総合治水対策や、水防計画と連携し、まずは雨水を流下させる河川維持計画に取り組む。昨夏の西播磨地区の被害や、本町の被害の歴史から、その対策は。

総務部長 水害の住民意識の喚起は、広報いながわや浸水区域図などで啓発している。雨量や水位などは「猪名川町防災気象情報サイト」「兵庫県CGハザードマップ」などを町ホームページからリンクし情報を提供するなど、災害に対する意識啓発に努めている。

建設部長 調査結果は良好である。今後、生態系の保全を含めた計画を各課と連携して策定する。



合田 共行議員

Q 一人の患者をカバーする地域医療を

A 広域的連携の下、調査研究が必要

【知っておきたい、考えたい豆情報】

◆救急搬送人数	平成20年	平成21年	対 比
高齢者(65才~)	485人	549人	113.2%
総 搬 送 数	1074人	1030人	95.9%

◆緊急通報システム設置世帯 93件(平成22年5月末現在)
◆ふれあい収集利用世帯 25件(// 6月末現在)

一人の患者をカバーするネットワーク化に向けた地域医療の取り組みが必要では。

生活部長 町での対応は難しく、広域的連携の下医療情報プロジェクトとして調査・研究が必要。各種団体への町補助金を総合的に見直し、高齢者に対し厚い施策がなされても良いのではないか。

生活部長 総合的な視点から見直しの予定はない。ふれあい収集は、要件が合致したら利用権利を有する形にし、利用は個人判断に任ずるべきでは。

生活部長 これまでの方向で継続したいと考えている。

災害時要援護者支援策は、全町の制度としていつスタートするのか。

総務部長 つつじが丘小学校区を対象に進めており、その後、できるだけ早く全町実施につなげる。高齢者の安らぎやコミュニケーションの場として待合公園、ベストポケットパークの設置を望むが。

建設部長 高齢者が社会参加しやすい、歩きやすい安全性、「コミュニケーションの場としての空間、総合的な施策課題として検討していく。

◆その他の質問
住民の参画と協働について

ひとくちメモ

「ポケットパーク (pocket park)」道路わきや街区内の空き地などわずかの土地を利用した小さな公園または休憩所。地域の生活環境を良くすることを重視し、気軽に休める憩いの場。



池上 哲男議員

Q 危険箇所の植栽は撤去も含む対応を

A 県と調整を図っている

消防署前及び白金の郵便局前の県道は、中央分離帯の植栽が高く、交差点右折車は対向車が見えにくくて危険。危険箇所については、撤去も含めた対応も必要では。

建設部長 刈り込み時期を早めるか、撤去も含め、再検討されるよう、県と調整を図っている。

町業務の委託契約で昨年度1400万円から22年度900万円と、64%での落札がある。各地でダンピングにより、サービステラ下や労働条件低下、事業所撤退が起きている。本町ではこのような



刈り込み直後は見通しがよいが…

ことは起こっていないか。

総務部長 最低賃金や安全確保ができていると理解せざるを得ない。委託において労働者の労働条件を保障する「公契約条例」制定の考えは。また、従業員の賃金を把握する「公共サービス基本法第11条」は遵守されているか。利益が確保でき、賃金が保障される契約をすべきでは。

総務部長 直ちに条例制定するという考えはない。利益確保が可能だから契約していると思う。賃金を織り込むことは疑問。



多くの子どもが通う町内私立幼稚園



丸山 純議員

Q 移住政策としての幼・保の民間委託は

A 待機児童対策や公立のリードを進める

今年2月から3カ月間で105人の住民が減った。初めての出来事である。今年から開始の第5次猪名川町総合計画では、来年3月時点の人口を3万3千人、2020年には3万5千人の計画となっている。原因は何と考えているか。

総務部長 105人の人口減少については、人口

増加を目標としている本町として憂慮すべき事項である。国内の経済危機などでの一時的な現象とみている。社会移動や経済危機による住宅販売が伸びないことが要因である。

今社会の一端で働いている若い夫婦に猪名川町へ移り住んでもらう政策が重要である。保育所や幼稚園の民間への委託は考えているか。

生活部長 本町では民間委託は現時点では全く考えていないが、保育園の入所希望者が増加したので、待機児童対策の予算化はしている。

教育部長 本町では公立が私立をリードしながら、公教育の充実に努めている。

〈その他の質問〉
ケヤキの剪定の仕方について

Q 公園内のトイレを洋式に

A 現施設の変更時に対応を考えていく



新賀 保議員

町内にある公園のトイレを、高齢者や障害者に優しい洋式トイレにする考えはないのか。

建設部長 洋式トイレの普及については、だれもが安心して使用できる多目的トイレが望ましい。現施設の変更時に対応できればと考えている。み



向山公園に設置されている多目的トイレ

んなに気持ち良く使用してもらうためには、利用者のマナーの向上や、アドプト制度など地域の人の協力で清潔なトイレが実現できれば、洋式トイレの設置も増やしていくと考えている。

住宅用火災警報器を設置することにより、火災を早期に発見し、消火器などで住民による初期消火を行えば、さらに本町の火災発生の抑止また、発生しても被害を最少限に抑えることができ、安心と安全な町づくりにも貢献することになるのでは。

消防長 本町の現在の設置率は6割である。平成23年5月末までの設置義務化に向け、あらゆる機会を通し説明をするなど、地域単位での共同購入の推奨や各世帯への設置啓蒙へ向け、今まで以上に取り組んでいく。

Q 阿古谷小と松尾台小の統合は

A 情報提供を進め、総論を導きたい



安井 和広議員

阿古谷小の平成22年から27年までの全児童数の推移と、複式学級数予想は。

教育部長 平成22年50名、23・24年43名、25年37名、26年31名、27年27名となり、複式学級数は22・23年1クラス、24年2クラス、26年には低中高の3クラスとなり、完全複式学級となる見込みである。

PTA・各自治会などの協議の進捗状況は。

教育部長 20年11月に学習会、21年度に検討会を4回開催。22年度は「阿古谷小学校の教育を考える会」として開催した。

未就学児の親も含む、地域への情報提供（施設利



校庭で遊ぶ子どもたち（阿古谷小学校）

用方法・通学問題や学校選択制、コミュニティスクールなどは十分か。

教育部長 「阿古谷小学校の教育を考える会」の協議検討の状況を、まちづくり協議会・自治会・関係各団体に対し適時に提供していく。

地域での結論を求める時期を示すべきでは。

教育部長 地域の総論を踏まえ、庁内の調整と議会で説明を経て決定する考えであり、いつをめぐっては言えない状況。

その他の質問
・まちづくり協議会について



石井 洋二議員

Q 魅力ある公園づくりへの取り組みは

A 協働による公園づくりを進めていく

公園の意義として、「防
災的側面」「環境的側面」
「利用的側面」の3つの
側面があるが、48力所あ
る本町の公園を、さらに
魅力的な公園とするため
に、どのように取り組ん
できたのか。現在どのよ
うな問題があるのか。ま
た今後の取り組みは。

建設部長 開発にあたり

都市計画法や都市公園法
に照らし合わせながら検
討を行い、公園整備を実
施してきた。現在は利用
者ニーズの変化や経年劣
化が進み、徐々に施設の
交換時期を迎えている。
近年は住民の参画と協働



ベンチにもなる公園内の樹木保護囲い

を推進し、ワークショップ
による公園づくりに取
り組んでいる。
地域の歴史的・自然的資
源を活用した観光振興拠
点としての公園づくりは。
建設部長 観光振興の拠
点には至っておらず、課
題だと考えている。
公園におけるアドプト制
度の進展は。
建設部長 地域の公園管
理は、自分たちでできる
ことは自ら行ってこう
という気運も高まってき
ており、維持については
一部アドプト管理をお願
いしている。



販売拠点「道の駅いながわ」



宮東 豊一議員

Q 農業によるU・I・Jターンの政策は

A 県やJAと協力し、新規就農者を支援

人口は増加したが、寝る
ためだけに帰る町ではだ
めだ。本町の主産業は農
業と思うが、Uターン・
Iターン・Jターンなど
見込める政策は。

建設部長 農地を農地と
して活用することこそが
農業振興と考える。県や
JAと協力し、新規就農

者を支援する。Uターン
者などの受け皿になり得
るものと考えている。

農業で生活するのは容易
なことではない。本町に
は「道の駅いながわ」が
ある。農産物が品薄にな
る端境期の対応策として
大型冷温庫の設置など考
えられるが、どうか。

建設部長 ハウス栽培の
助成や、JA指導のもと
収穫時期をずらすなど努
力はしているが、問題解
決には至っていない。周
年出荷できる方法として
大型冷温庫設置は貴重な
提案だと思う。

**加工品、特産品の充実に
関してはどうか。**

建設部長 特産品認定委
員会による特産品のほか、
「道の駅いながわ運営協
議会」を新たに設置し、
協議会の審査を経た新た
な加工品の販売にも取り
組んでいる。

Q 「新しい公共」をどう捉えているか

A 全体で助け合う視点は重要と考える



久保 宗一議員

国から交付される国庫支出金は、本町の裁量が制限されたひもつき補助金のことだが、新政権はこれを廃止し自由に使える一括交付金化することで財源の効率的活用を図っている。これが実質的な自主財源への転換につながることを前提に、

自由裁量によって主体的に取り組める政策は何か。

総務部長 総額が明確になっていない中での答弁は控えるが、社会保障費を除いた公共事業の維持管理費は補助対象外であり、大規模改修工事など施設を活用した住民サービスの継続した提供を考慮すると、当該経費への充当は避けられない。

政府が進める地域主権改革議論の中で、支えあいと活気ある社会を創るための協働の場として定義される「新しい公共」について、どのように捉えているか。

総務部長 社会全体で助け合う視点は重要であり、住民、事業者などと相互理解を深め、情報を共有しながらパートナーシップを高め、公共での支え合い意識における新たな価値観を育んでいきたい。



雨漏り修繕が予定されている猪名川保育園

Q 自然との共生里山と清流猪名川の施策は

A いながわ里山・清流プロジェクトを発足



南 初男議員

清流いながわの源は町域の80%を占める山林・里山である。当町は里山と切っても切れない関係の歴史がある。かつては、山に入り木を切り、薪や炭に加工し、落ち葉は畑の肥料として活用することで、山と密接な関係を保っていた。日常生活の近代化によって、山は荒れ放題の状況である。当町の山林は大半が個人や民有もしくは地元の共有林であるため、里山再生は一筋縄ではいかない側面もある。また、保全・利活用していくためには環境だけの思考だけでは

難しい。当町や、広く阪神間の財産と位置づけたり組みは、**建設部長** 本町がいつまでも自然を身近に感じることが出来る町であるため、環境の保全や創造、人々が楽しめるように取り組み、豊かな自然環境を後世に伝えていくことが重要と考える。新たな森林資源の活用方法を模索しつつ、本年度に（仮称）里山再生計画を策定する予定。政策課題検討プロジェクトチーム「いながわ里山・清流プロジェクト」にて事業化も模索する。



資源を活用し里山再生を



福井 澄栄議員

Q 寛容の心で子どもたちを見守っては

A 公園利用のモラルも大切

公園のボール遊びが危険でなければ、寛容の心で子どもたちを見守って欲しいが、また、公園のトイレを車椅子でも利用できる多機能型トイレにして欲しいがどうか。



伏見台北公園のトイレ

建設部長 ボール遊びは住民の考え方もさまざま。利用する人のモラルも大切だ。トイレは改修時に考えていきたい。

駅で売り、袋詰め作業は障害者施設にお願いすれば収入につながるのでは。

建設部長 昨年よりシルバー人材センターで機械を購入して、製品化も研究している。

宅老所は長野県をはじめ全国的に設置がされてきている。高齢者、子どもたち、障害者が共に活動し、収益を上げている所もあり、ぜひ開設を。

総務部長 現行の社会福祉協議会の制度を活用してはどうか。NPO、ボランティアなどの育成は今後も取り組む。

自治功労者表彰を受賞

県町議会議長会より



福井 澄栄議員



池上 哲男議員



道上 善崇議員

5月25日に開催された県町議会議長会総会において、永年にわたる功績に対し、町議会議員15年以上の在職功労者として表彰されました。

平成7年に初当選以来、15年の永きにわたる在職功労者として、その議員活動などの功績が認められたものです。

●議長交際費の閲覧

閲覧内容は、支払日、支払目的、金額などで、相手先については原則公開ですが、個人情報を含む場合は非公開となります。

4月分以降を3カ月毎にまとめ、最終月の翌月末に閲覧できます。

閲覧を希望される方は、議会事務局で閲覧受付簿に必要事項を記入していただければ閲覧できます。

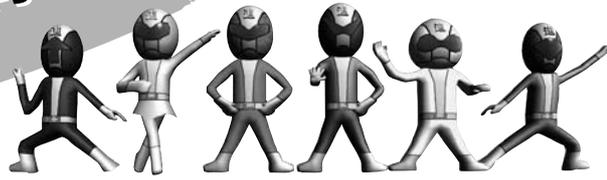
●会議録の閲覧

本会議・委員会の会議録は、議会事務局・図書館・日生連絡所・六瀬連絡所で閲覧できます。

また、ホームページからも一部の会議録をご覧になれます。

お知らせ

いながわ 追跡調査隊 追うレンジャー



過去に行われた一般質問のその後を追跡調査隊「追うレンジャー」が調査しました。第10回のミッションは、次のこの質問のその後です。

ふれあいバスの市立川西病院への運行は

質問 平成20年 6月定例会

市立川西病院を利用する住民は多く、高齢者には自動車事故件数の増加などと相まってふれあいバスの病院乗り入れを要望する声も高まっているが。

答弁 可能性を探る

利用者が全体の15%を占め、国道整備などの変化もあり、時間延伸や能勢電鉄との競合などのほか、川西市の意向確認と併せて可能性を探りたい。

市立川西病院行きバスを試験運行

市立川西病院へのアクセス向上にむけ、平成22年7月から約半年間、日生中央駅と市立川西病院を結ぶバスの実証実験運行を行い、住民ニーズなどを調査し、本格運行にむけた検証を行う。



生活再建セーフティネットの導入を

質問 平成20年 12月定例会

多重債務相談の窓口設置や横断的な組織連携など、住民の生活再建にかかる総合的なネットワーク体制が必要と考えるが。

答弁 あるべき姿を充分検討したい

専門部署の設置やスペシャリストの配置は難しい面があるが、弁護士などとの連携や窓口一本化は考えており、今後あるべき姿を検討していきたい。

相談体制を拡充するなどして対応

多重債務相談の体制について、専門員は設置していないが、消費者行政全般の活性化にむけ、平成22年度より相談回数を週3回から4回に増やし、また、各種の啓発活動や出前講座を実施するなどして対応している。

現在



今年で15回目を迎えた「あじさいまつり」

7月3日・4日

あじさいまつり



こどもたちの声



かたつむりがいっぱいいたよ

阿古谷小学校 二年 久保 翔大

かたつむりの顔をさわると、かたつむりのおなかの中に入っていきました。おもしろくて一ぴきもって帰りました。でも、途中で手がすべつて、かたつむりのからがこわれまして。かたつむりさんに「ごめんなさい。」と、あやまりました。



スタンプリリー

白金小学校 二年 国本 一将

学校たんけんスタンプリリーで、一年生にもんだいを出しました。ぼくは、「大プールと小プールは、どちらが大きいでしょう。」とききました。一年生は、むずかしかったようです。一年生は、ぼくよりも体が小さくて、いもうとやおおつとに見えました。

22年度 定例会の日程

- * 9月定例会 9月9日(第1日)
9月16日(第2日)
9月22日(第3日)
- * 12月定例会 12月7日~22日
- * 3月定例会 23年2月25日~3月28日
※議事の都合により変更することがあります。

あなたも 議会・委員会を傍聴しませんか

議会では、身近な問題などを議論しています。

まちづくりを一緒に考えてみませんか。傍聴の手続きは簡単で、当日、事務局で受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。

(議場20名、委員会室10名まで)

編集 後記



暑中お見舞い申し上げます。参議院選挙やワールドカップなど、それぞれに熱い戦いがありました。が、日常の努力やチームワークと同時に「信頼」ということがとても大切である

と思えます。

私たちも、皆さまに信頼される議会となるよう、少しでも多くの情報をお届けしたいと思っております。紙面には限りがありますが、傍聴がありますので、傍聴やホームページによる会議録検索システムもあわせてご利用いただきながら、今後も「愛読の程よろしく」お願いします。

